

(様式6-1) 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	静岡県における安全で潤いと憩いのある海岸づくりの推進 (防災・安全)		
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度	交付対象	静岡県
計画の目標	海岸侵食の顕在化や頻発する高潮、想定される東海地震等による津波など増大する災害リスクに対し、地域住民や河川管理者と連携・協力しつつ、砂浜の保全・回復による自然防御力を主体とした高潮・侵食対策、海岸保全施設の老朽化対策および津波高潮に対する危機管理を順応的に行うことにより、富士山を仰ぐ海岸景観や美しい白砂青松を守り、安全で潤いと憩いのある海岸づくりを推進する。		

計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> レベル1津波に対する津波対策施設 (海岸) の整備率を、H24末の0.0km (0.0%) からH29末に2.7km (11.7%)へ増加。【国土交通省水管理・国土保全局所管の海岸を対象】 海岸侵食に対して、背後地の防護に必要な浜幅が確保されている海岸線の延長を、H25末の20.6km (94.1%)をH29末まで確保する。【国土交通省水管理・国土保全局所管の海岸を対象】
-----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H24末)	中間目標値 ()	最終目標値 (H29末)							
① レベル1津波に対する津波対策施設 (海岸) の整備率 (レベル1津波による災害から守られた海岸線の延長 (km) / 各地区の海岸で発生すると想定されるレベル1津波に対して防護すべき海岸線)	0.0km (0.0%)		2.7km (11.7%)							
② 背後地の防護に必要な浜幅が確保されている海岸線の延長 (防護に必要な浜幅が確保されている海岸線の延長 (km) / 侵食メカニズムを解明し、侵食対策を実施中の海岸線の延長 (km))	20.6km (94.1%)		20.6km (94.1%)							
全体事業費	合計 (A+B+C)	6,850.百万円	A	6,850.百万円	B	0	C	430.百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	6.3%

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ	
第2期 (H20~H24)	第3期 (H25~H29)
分野名 安全・安心	分野名 安全・安心
目標名 地震災害対策の推進	目標名 地震災害に強い基盤整備
指標名 津波、高潮による災害から守られた海岸線の延長の割目標値 (H24) 56.30%	指標名 レベル1津波に対する津波対策施設 (海岸) の整備目標値 (H29) 15.3%

事後評価	
1. 交付対象事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込 (備考欄に完成予定時期を記入、未定は空欄) -:その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等)) (計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●:本計画の期間中に完成 ▲:本計画の期間終了後に完成見込 (備考欄に完成予定時期を記入、未定は空欄))	

交付対象事業																		
A1 海岸事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
											H25	H26	H27	H28	H29			
A1-1	海岸	一般	静岡県	直接	-	高潮		清水西海岸 高潮対策事業	養浜、突堤	静岡市						3,760.0	△	
A1-2	海岸	一般	静岡県	直接	-	侵食		竜洋海岸 侵食対策事業	離岸堤、養浜	磐田市						1,200.0	△	
A1-3	海岸	一般	静岡県	直接	-	侵食		浜松篠原海岸 侵食対策事業	養浜	浜松市						1,050.0	-	休止中
A1-4	海岸	一般	静岡県	直接	-	老朽化		遠州灘沿岸 海岸堤防等老朽化対策緊急事業	老朽化対策	浜松市他						60.0	○	H26から緊急対策へ移行
A1-5	海岸	一般	静岡県	直接	-	老朽化		駿河湾沿岸 海岸堤防等老朽化対策緊急事業	老朽化対策	静岡市他						0.0	○	H25は休止
A1-6	海岸	一般	静岡県	直接	-	津波高潮		沼津牛臥海岸 津波・高潮危機管理対策緊急事業	防災ステーション	沼津市						90.0	○	旧地域自主
A1-7	海岸	一般	静岡県	直接	-	高潮		静岡海岸等 高潮対策事業	液状化対策、嵩上	静岡市他						220.0	△	H26から緊急対策へ移行
A1-8	海岸	一般	静岡県	直接	-	侵食		浜松五島海岸 侵食対策事業	突堤工、養浜	浜松市						40.0	△	広域連携から移行
合計																6,420.0		

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 (港湾・地区名)	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
										H25	H26	H27	H28	H29			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
										H25	H26	H27	H28	H29			
C-1	海岸	一般	静岡県	直接	-	海岸整備	緊急海岸環境改善事業	堆砂垣、養浜	各市町						150	△	
C-2	海岸	一般	静岡県	直接	-	計画・調査	侵食対策の検討	モニタリング	各市町						40	△	
C-3	海岸	一般	静岡県	直接	-	施設整備	監視施設整備	定点カメラ	各市町						140	○	
C-4	海岸	一般	静岡県	直接	-	施設整備	事業効果等の周知	ホームページ・海岸カルテ、啓発標識、パンフレット	各市町						100	○	
合計													430				

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
C-1	漂砂バランスが崩れ、基幹事業による対策を実施している海岸において、周辺景観に配慮した養浜を実施するとともに、地域と連携して堆砂垣などを設置することにより砂浜の保全・回復を図り、美しい白砂青松で形成される海岸づくりに寄与する。															
C-2	遠州灘プロジェクトの成果であるシラス漁船の魚群探知機を活用した深浅測量の実施により、沖合の地形変化を面的かつ高頻度に把握する。															
C-3	漂砂バランスが崩れ、基幹事業による対策を実施している海岸において、定点カメラを活用した状況監視により、高波浪等に伴う砂浜等の状況変化を把握する。															
C-4	漂砂バランスが崩れ、基幹事業による対策を実施している海岸において、海岸の現状と課題、対策の状況と効果など、海岸事業に関する周知・啓発を地域住民へ行うことにより、海岸事業に対する理解をより一層深めるとともに、白砂青松を構成する砂浜の重要性など海岸への意識向上を図る。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

(参考) 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業

(別添「事業実施計画」参照)

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> レベル1津波に対する堤防高が不足する海岸堤防の嵩上工事を実施することにより、安全・安心な県土づくりを推進することができた。 養浜を主体とした侵食対策により、防護に必要な浜幅が確保され、背後の住宅地や交通網等の安全の向上を推進することができた。 															
II 定量的指標の達成状況	指標①(レベル1津波に対する津波対策施設(海岸)の整備率)	最終目標値	2.7km(11.7%)	目標値と実績値に差が出た要因	レベル1津波に対する施設整備に先立ち、整備高や景観に関する地元調整及び構造の検討に時間を要した結果、施設整備の進捗が遅延した。												
		最終実績値	1.24km(5.4%)														
	指標②(背後地の防護に必要な浜幅が確保されている海岸線の延長)	最終目標値	20.6km(94.1%)	目標値と実績値に差が出た要因		計画通り進捗している。											
		最終実績値	20.6km(94.1%)														
III 定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況																	

3. 特記事項(今後の方針等)

引き続き、交付金による各種事業の進捗を図り、安全で潤いと憩いのある海岸づくりを推進するものとする。

(様式6-1) 社会資本総合整備計画 (参考図面)

